

連休ももうおしまい。どんな連休でしたか？
私はなんとなくだらだらと過ごしているうちに終わってしまいました。連休のさなか、4日には遠出がおっくうな数人が有明の森に集まりました。春の花の観察、第2弾です。今回は涌島さんのお陰で、大変結構なおまけ付きでした。(と、ここまでは5月10日頃書いていました。)

春の植物の盛りはあっという間に過ぎてしまい、ずいぶんの間抜けな書き出しになってしまいました。といえず5月の例会の報告と6月の例会のご案内です。

春の妖精を探そう 第2弾

まだ有明の森の全容を知るまでには至っていませんが、少しずつわかってきました。

5月の参加者

今回の参加者は、子ども3人・大人4人、計7人でした。

子どもたちは、本当はお花見よりも「秘密基地」(去年の暮れに作ったお家。お家ではなく、こう呼ばなければならないそうです。)の補修や新設が目的のようですが、我慢して大人たちにおつきあいしてくれたようです。

=====

5月の野外料理：春の味覚のお裾分け

=====

涌島さんが天ぷらセットを持ってきて下さいました。たき火はまずいだろうけれど、バーナーなら大丈夫だよねってことで、

いつものコールマンの二口バーナーと鍋・サラダオイル、そして味噌マヨネーズのドレッシング(?)

持参。ヨモギ・コンフリー(下の家の近くに生えていた)・コゴミ

を少々、その場で食べる分だけいただきました。

実のところ私は山菜ものがちと苦手なのですが、出たばかりの葉の天ぷらは山菜独特のにおいやほろ苦さもなく、大変美味しくいただくことができました。



とりたての春の味覚を味わうことができました。(多謝!多謝!)

今月の花

今回は写真だけです。
こめんなさい。
ヒトリシズカ



フッキソウ



ミヤマスマレ?



6月のご案内

6月の例会は「椎茸の菌打ち?」をします。
昨年の秋に伐採しておいたミズナラに椎茸の菌を打ち付けます。収穫はたぶん来年になるかとは思いますが...。ひとり1本くらいはもって帰っても大丈夫だと思います。楽しみにして来てください。

6月24日 10:00 現地集合です。

石山さん、お手数ですが、段取りをお願いします。

=====

連載 あなたの守護樹は?

「木の癒し」: ギーゼラ・プロイシエフ,2000
(小川捷子訳,飛鳥新社)から

6月4日~6月13日

クマシデ

この時期に生まれた人は、正義感にあふれ、物事を慎重に判断します。他人のために、自分を犠牲にしてしまうところがあります。

6月14日~6月23日

イチジク

この時期に生まれた人は、繊細なために、しばしば人生がつらく思えることがあるかもしれませんが。でもこのつらさは幸せと表裏一体なのであり、つらさに耐える人だけが、本当の幸せを味わうことができるのです。一番日の長いときに生まれているので、感性和理性、平穏と性急さ、幸せと苦しみの中でバランスをとりにくいのです。

お問い合わせは、孫田まで

TEL 011-593-0713 FAX 011-593-0502

E-mail arcson@bc.wakwak.com

(文責:孫田敏)